

都市計画事業に要する経費と都市計画税

(単位：千円、%)

都市計画税は、都市計画事業（街路、公園、下水道など）の費用に充てるために負担していただく税金です。
令和3年度は、街路、下水道などの事業と都市計画事業のために借り入れた地方債の償還に充てられました。
事業に充当された一般財源に占める都市計画税の割合は、98.0%となっています。

年度	都市計画事業費	地方債償還額	計	充当一般財源A	うち都市計画税B	充当率B/A
R元	989,402	327,181	1,316,583	1,165,404	1,156,642	99.2
R2	1,047,404	267,428	1,314,832	1,235,982	1,142,432	92.4
R3	974,924	230,863	1,205,787	1,153,383	1,129,851	98.0

特別会計決算（見込み）

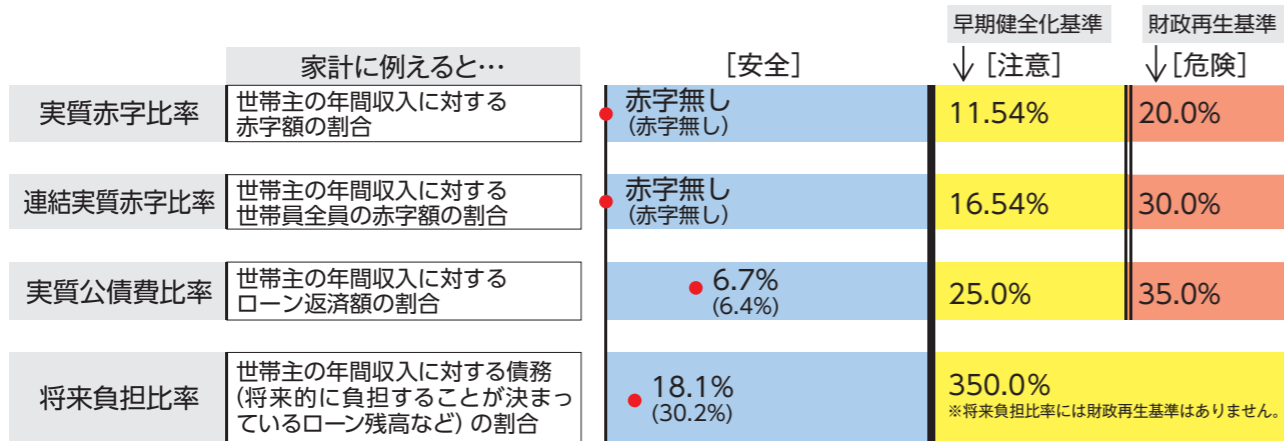
特定の事業を行うために一般会計とは別に独立して経理が行われる会計です。尾道市には10の特別会計があります。

区分	歳入額	歳出額	差引額
港湾事業	1億9521万円	1億8616万円	905万円
国民健康保険事業	149億3743万円	148億7541万円	6202万円
千光寺山索道事業	8630万円	8630万円	0円
駐車場事業	6400万円	6400万円	0円
夜間救急診療所事業	7771万円	7771万円	0円
介護保険事業（保険事業勘定）	169億337万円	166億1751万円	2億8586万円
介護保険事業（介護サービス事業勘定）	2059万円	2059万円	0円
漁業集落排水事業	2448万円	2448万円	0円
農業集落排水事業	4879万円	4879万円	0円
渡船事業	5065万円	5065万円	0円
後期高齢者医療事業	24億3108万円	23億7809万円	5299万円
合計	348億3960万円	344億2968万円	4億992万円

財政の健全度

健全化判断比率

令和3年度決算に基づく各比率は、すべて国の基準を下回っており、尾道市の財政はおおむね健全です。



指標	解説
実質赤字比率	標準財政規模 ^(※1) に対する一般会計等 ^(※2) の赤字の割合
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合
実質公債費比率	標準財政規模に対する公債費 ^(※3) の割合
将来負担比率	標準財政規模に対する市が将来負担すべき負債の割合

※1 地方公共団体が標準的な行政サービスを提供するために必要な一般財源（使い道の決まっている財源）の大きさ。
※2 一般会計に港湾事業・夜間救急診療所事業特別会計を加えたもの。
※3 地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金。

資金不足比率

公営企業ごとの収入に対する赤字額の割合です。尾道市は、すべての公営企業で赤字は発生していません。今後も、引き続き持続可能な財政運営に努めていきます。

企業会計決算（見込み）

事業で得られる収入で支出をまかなう会計です。水道・下水道・病院の3つの会計があります。

水道事業

上下水道局経営総務課 (☎0848-37-8701)

【収益的収支】

事業収益では、給水収益が大幅に減少したことなどにより、1億7561万5千円(4.6%)の減収となりました。一方、事業費用では、人件費及び受水費の減少に加えて、前年度に実施した水道基本料金2カ月分免除(新型コロナウイルス感染症に起因する経済支援)に伴う特別損失計上の皆減により、1億6352万3千円(4.5%)の費用減となりました。その結果、収支差引2億616万8千円の純利益を計上することとなりました。

【主な建設改良事業】

老朽化した管・施設の更新により耐震化を行い、持続可能で健全な損益計算書 R3.4.1~R4.3.31 (単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	373,414	水道料金収入	3,199,603
物件費	460,641	受託工事収益	2,976
受水費	1,465,865	受託管理収益	102,285
支払利息	73,122	その他	357,921
その他	1,083,284	特別利益	0
特別損失	291		
当年度純利益	206,168		
合計	3,662,785	合計	3,662,785

下水道事業

上下水道局経営総務課 (☎0848-37-8701)

【収益的収支】

収支差引は4884万8千円の純利益を計上しました。人口減少に伴い使用料収入の確保が厳しい状況にあるものの、公共下水道普及地区拡大とあわせ、接続率の増加を図り、さらなる収益の増加に努めてまいります。

【主な建設改良事業】

下水道計画区域内の未普及地区解消や雨水の適正処理のため、新浜地区・天満地区及び土堂地区などを中心に管渠築造工事を行いました。

損益計算書 R3.4.1~R4.3.31 (単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	77,849	下水道使用料収入	368,358
物件費	377,596	雨水処理負担金	271,150
支払利息	120,362	受託事業収益	197,856
その他	1,060,436	その他	847,727
特別損失	0	特別利益	0
当年度純利益	48,848		
合計	1,685,091	合計	1,685,091

病院事業

市民病院経営企画課 (☎0848-47-1155(代))

公立みつぎ総合病院経営企画課 (☎0848-76-1111(代))

【収益的収支】

市民病院は、事業収益76億3990万7千円に対し、事業費用74億3786万7千円で、差引2億204万円の利益を計上しました。
公立みつぎ総合病院は、その他特別利益を含め、事業収益66億1706万9千円に対し、事業費用64億6123万4千円で差引1億5583万5千円の純利益を計上しました。

【市民病院】

高度・多様化する医療需要に対応するため、超音波画像診断装置、自動洗浄除染乾燥装置等の各種医療機器や電子カルテシステムの更新を行い、病院機能の強化と患者サービスの向上に努めました。瀬戸田診療所では、これまで同様に地域で求められる医療の提供に努めました。

【公立みつぎ総合病院】

地域包括ケアシステムの構築により、救急医療及び疾病の治療から地域住民の健康づくり、介護予防、リハビリテーション、在宅ケア、さらに

損益計算書 R3.4.1~R4.3.31 (単位：千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	8,435,120	入院収益	7,108,780
物件費	1,889,789	外来収益	2,392,522
支払利息	56,420	その他医療収益	3,116,933
その他	3,507,712	その他	1,437,258
特別損失	10,060	特別利益	201,483
当年度純利益	357,875		
合計	14,256,976	合計	14,256,976

水道事業経営に努めました。今後、給水収益の増加を期待することが難しい状況にありますが、尾道市上下水道事業ビジョンやアセットマネジメントを基軸として、中長期的展望を視野に入れた持続可能な事業の構築を図りつつ、安全で良質な水の安定供給に努めてまいります。

貸借対照表 R4.3.31現在 (単位：千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	25,149,426	固定負債	4,890,990
無形固定資産	2,571	流動負債	809,118
流動資産	3,192,280	繰延収益	4,778,477
		資本金	12,943,906
		資本剰余金	638,270
		利益剰余金	4,283,516
		減債積立金	460,000
		建設改良積立金	2,420,000
		当年度未処分利益剰余金	1,403,516
		繰越利益剰余金	497,348
		その他未処分利益剰余金変動額	700,000
		当年度純利益	206,168
合計	28,344,277	合計	28,344,277

今後は、引き続き普及地区拡大に向けた管渠整備に加え、老朽化した施設などの更新による資金需要の増大が見込まれます。

持続可能で強靱な下水道事業の構築を図るため、尾道市上下水道事業ビジョンやストックマネジメント計画を基軸として改築更新を行うなど、コスト意識を持ちながら、効率的な経営に努めてまいります。

貸借対照表 R4.3.31現在 (単位：千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	27,117,332	固定負債	9,714,380
無形固定資産	2,780	流動負債	965,050
流動資産	552,451	繰延収益	13,799,688
		資本金	1,491,674
		資本剰余金	1,836,348
		利益剰余金	△134,577
		当年度未処分利益剰余金	△134,577
		繰越利益剰余金	△183,425
		当年度純利益	48,848
合計	27,672,563	合計	27,672,563

介護・福祉までのシームレスなサービスを提供してまいりました。主な事業として、病院空調・熱源設備他改修工事などを行いました。また、介護システムタブレット端末の整備やX線画像読取装置などの医療機器の充実も図りました。

両院とも、新型コロナウイルス感染症に対する検査機能や診療機能の整備を行い、相互に連携を取りながら、感染拡大の防止に努めました。

地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供するために、引き続き医療提供体制の充実と経営の効率化を図り、地域の中核病院としての役割を果たしてまいります。

貸借対照表 R4.3.31現在 (単位：千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	12,712,488	固定負債	7,390,383
無形固定資産	1,970	流動負債	2,683,732
投資	423,782	繰延収益	1,829,855
流動資産	7,495,661	資本金	8,399,181
		資本剰余金	212,465
		利益剰余金	118,285
		減債積立金	438,000
		建設改良積立金	100,000
		当年度未処分利益剰余金	△419,715
		繰越利益剰余金	△777,590
		当年度純利益	357,875
合計	20,633,901	合計	20,633,901